



小田原・足柄地域連合 NEWS

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
小田原・足柄地域連合
〒250-0042
小田原市荻窪362
第1オギクボビル203
TEL: 0465 (34) 3255 FAX: 0465 (32) 7440
発行責任者: 丸山 秀和
編集責任者: 山口 誠

小田原・足柄地域連合 第三十一回定期総会」を開催

小田原・足柄地域連合は十一月二十六日に第三十一回定期総会を開催しました。冒頭、丸山議長より、この一年間の取り組みに対する産別・単組の協力に感謝するとともに、今年度を振り返りコロナ禍により活動を自粛・中止を余儀なくされました。しかし、コロナ禍でもできることから実施をするという方針のもと、メンバーのインターネット開催では昨年より充実した形で役員の皆様の協力のもと開催しました。今後は、With/Afterコロナを踏まえ、新しい生活様式への対応など、SNSを活用し時代に合った労働運動にも力を入れていきたい。また、政治の取り組みでは、松田町長選挙で現職の本山さんの再選を果たすことができませんでした。職の第四十九回衆議院選挙で神奈川十七区の小田原市が、丸山洋介さんを再び国政に送り出すことができなかつた事は悔やまれます。皆様のご支援・ご協力に感謝します。

そして、来年度の活動方針を確認いただき、来期からは、各産別・単組にお邪魔させていただき、情報共有に努めお互いを理解し、本当の意味での顔の見える活動を進めていきたい。との挨拶がされました。

来賓の連合神奈川吉坂会長からは、新型コロナウイルス感染症の感染状況は減少し落ち着いてきているが、感染防止対策を継続していく必要性について、連合ビジョンの「持続可能性」と「包摂」を念頭に運動の再構築を進めていくことが大切だと。また、笑顔と元気のプラットホームでは、地域の特性を活かした活動が重要であり皆様と進めていきたいとの挨拶をいただきました。

総会の議事では、活動報告、決算報告、活動方針(案)、予算(案)、新役員体制、スローガン、総会宣言の採択など、全てにおいて満場一致で承認されました。今総会で退任されます副議長代行をはじめ、副議長、幹事の皆様に心より感謝申し上げます。丸山議長長の発声により「最後は三唱し閉会しました。 団結ガンバ



丸山議長挨拶



新年明けましておめでとうございます。小田原・足柄地域連合で議長を仰せつかっておりますカネボウ労組の丸山と申します。今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、本来と違い限られた範囲内の活動となりました。同様に、昨年の総選挙の結果、課題としても各労組コロナ禍の中で出来る範囲での活動となりました。今後の課題として受け止めています。そして、この様な状況下ではありますが、小田原・足柄地域連合加盟労組では、当たり前の事を当たり前に活動する姿勢、ウイズコロナに向けて歩み出しました。“顔の見える活動”を常に心掛け、時代にあった活動を、加盟労組との連携を更に強化し活動を進めて行きたいと思えます。これからも、諸先輩方が築き上げてきた歴史と伝統を大切にしながら、新しい生活様式に合った地域労働運動を進めてまいれる所存でございます。その前に、皆さんが健康であることが第一条件です。皆様にとつて、実り多き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

歳末助け合いカンパ 21 労組から 369, 263 円を集約



ゆりかご園



城山学園

今年、新型コロナウイルス感染症防止の観点から街頭での歳末助け合いカンパは実施せず、十一月を加盟組織による組織内カンパ強化月間として、小田原・足柄地域労働協との共催で実施しました。

二十一組織の皆さまの善意が集まった浄財(組織内カンパ)は十二月十七日(金)に「かもめの家」「ゆりかご園」「ありんこホーム」「暁の星学園」「恵明学園」「城山学園」の六つの福祉施設へ地域連合役員および地域労働協の役員が訪問し寄付しました。昨年に続き家庭にあつた「ぬいぐるみ」を四か所の児童福祉施設に寄付しました。

訪問した福祉施設の理事長や施設長をはじめ入所している子どもたちに大変喜ばれ、毎年実施している「歳末助け合いカンパ」の意義を再認識することができました。

他4施設

多くの皆様のご協力ありがとうございました